

今月は

# 百読あれ

～広島経済大学へようこそ～

毎月おすすめの本を紹介する『一読あれ』。今回は、4月特別号として『百読あれ』と題し、本学にある5つの学科に対応する入門本を100冊集めました。下記に紹介しているのはその一部です。経済、マネジメントなど、これから4年かけて学んでいく内容を知る最初の1冊が、この100冊の中から見つければ幸いです。

『東大生がつくったマンガやさしい経済学入門』 東大まんがくらぶ著 331/To17 2F和図書A  
東大のマンガサークルによって作られた経済入門の本。すんなり読めて理解できます。

『これならわかる！ドラッカー思考』 枝川公一著 335.1/E21 2F小型本  
経営の父・ドラッカーの思考を、著書を読む前によく知りたい人におすすめの本です。

『常識の超え方：スポーツビジネスの教科書』 池田純著 783.7/I32 2F和図書B  
横浜Vイスターズ球団社長の経験を持つ著者が、経験則にもとづいて書いたビジネスの教科書。

『ビジュアル解説IoT入門』 三菱総合研究所編 007.3/Mi63 2F和図書A  
IoTの仕組みと本質、それらの私たちへの影響について、図をまじえてわかりやすく解説。

『広告コピーの教科書』 誠文堂新光社編 674/Se17 2F和図書B  
11人のトップコピーライターの仕事テクニックから生き方まで、広告コピーの真髄を掘り下げます。

『9割の人間は行動経済学のカモである』 橋本之克著 331/H38 2F和図書A  
行動経済学で、人がどんな時に誤るのが見えてくる。実際的な学問の面白さを、本書でぜひ。

『図解大学4年間の経営学が10時間でざっと学べる』 高橋伸夫著 335.1/Ta33 2F和図書A  
経営学＝人を幸せにする学問と言う著者。大学で教わる内容がぎゅっと凝縮されています。

『広島カープの「勝ちグセ」戦略』 榎本誠二著 783.7/Ma68 2F和図書B  
熱狂的ファンと強い組織力が持ち味の広島カープ。その裏側にある戦略をひもときます。

『AIが同僚』 日系トップリーダー、日系ビッグデータ編 336/N73 2F和図書A  
人工知能（AI）が活用されると組織の何がどう変わり、あなたの働き方はどうなるのか。

『池上彰の新聞活用術』 池上彰著 070.4/I33 2F和図書A  
身近なメディア・新聞は、活用次第で自分のスキルアップに繋がる！要点が押さえられる本。

3F中央ホールで展示中！  
貸出できます